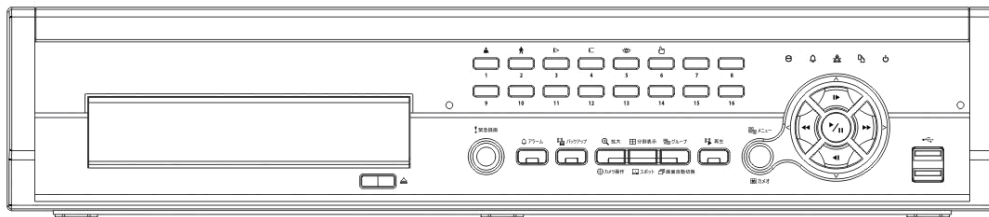


# 【1】 クイックインストールレーションガイド

## デジタルレコーダー

### SDRS-1630・SDRS-831



このたびは、デジタルレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

本書は、主にデジタルレコーダーの設置などについて、解説するクイックインストールレーションガイドです。

本製品の取扱説明書は、以下の Web からダウンロードしてご利用ください。

<http://www.selco.ne.jp/products/dvr.html>

本書とクイックオペレーションガイドおよび取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

保証書には必ず必要事項を記入してください。

#### 【製品に関するお問い合わせ先】

セルコ株式会社 カスタマサポート室

E-mail : support@selco.ne.jp

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

## セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町 14 番地 3

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

# ★設置の概要

## 1. アナログカメラの電源供給方式

アナログカメラとデジタルレコーダーの接続には、電源供給方法により、“電源重畳方式”と“電源別送方式”の2方式があります。互換はありませんので、環境に応じて正しく設置してください。

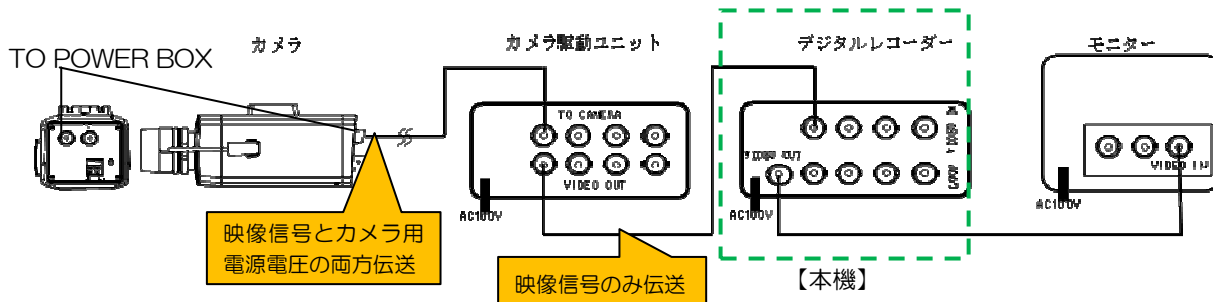
ご使用のカメラにより、以下の3種類のタイプがあります。

カメラタイプ	弊社製カタログ表記
・電源重畳方式と電源別送方式の両方に対応したカメラ	電源重畳 電源別送
・電源重畳方式専用カメラ	電源重畳
・電源別送方式専用カメラ	電源別送

### ① 電源重畳方式の概要

カメラ電源を専用カメラ駆動ユニットから供給します。同軸ケーブル1本のみで対応しますので、カメラとカメラ駆動ユニットの間の同軸ケーブルには、電源と映像信号が重畳されて伝送されます。

TO POWER BOXなどと表記された[映像信号/電源重畳端子 (BNC)]に専用のカメラ駆動ユニットからの同軸ケーブルを接続します。[電源端子]は使用しません。



#### 【使用上の注意】

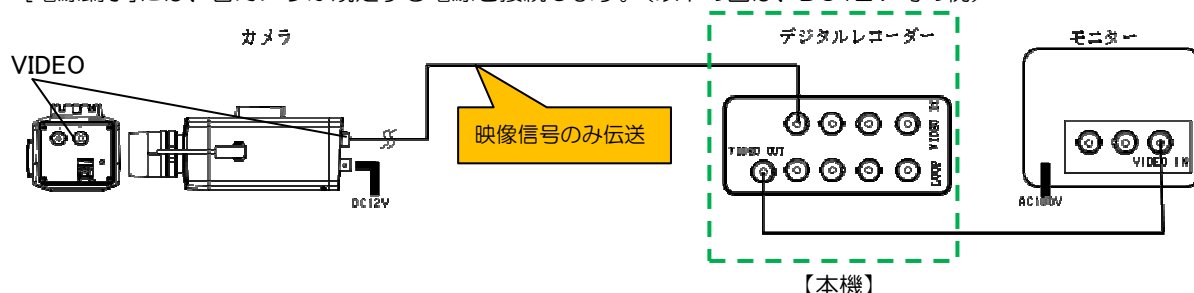
- ・カメラ駆動ユニットからの同軸ケーブルは、必ず“TO POWER BOX”などと表記された電源重畳カメラ端子に接続してください。誤って、“VIDEO”などと表記された映像出力端子に接続すると故障の原因となります。
- ・電源重畳と電源別送とは併用しないでください。故障の原因となります。
- ・使用するカメラによっては、供給電圧の違いによりカメラ駆動ユニットが異なります。誤って接続すると故障の原因になりますので、取扱説明書を参照いただき、正しく接続して下さい。

### ② 電源別送方式の概要

カメラ電源を電源アダプタを使って、供給します。カメラとデジタルレコーダーを直接接続し、この間の同軸ケーブルには、映像信号のみが伝送されます。(カメラ近傍に AC100V 電源の配線が必要です)

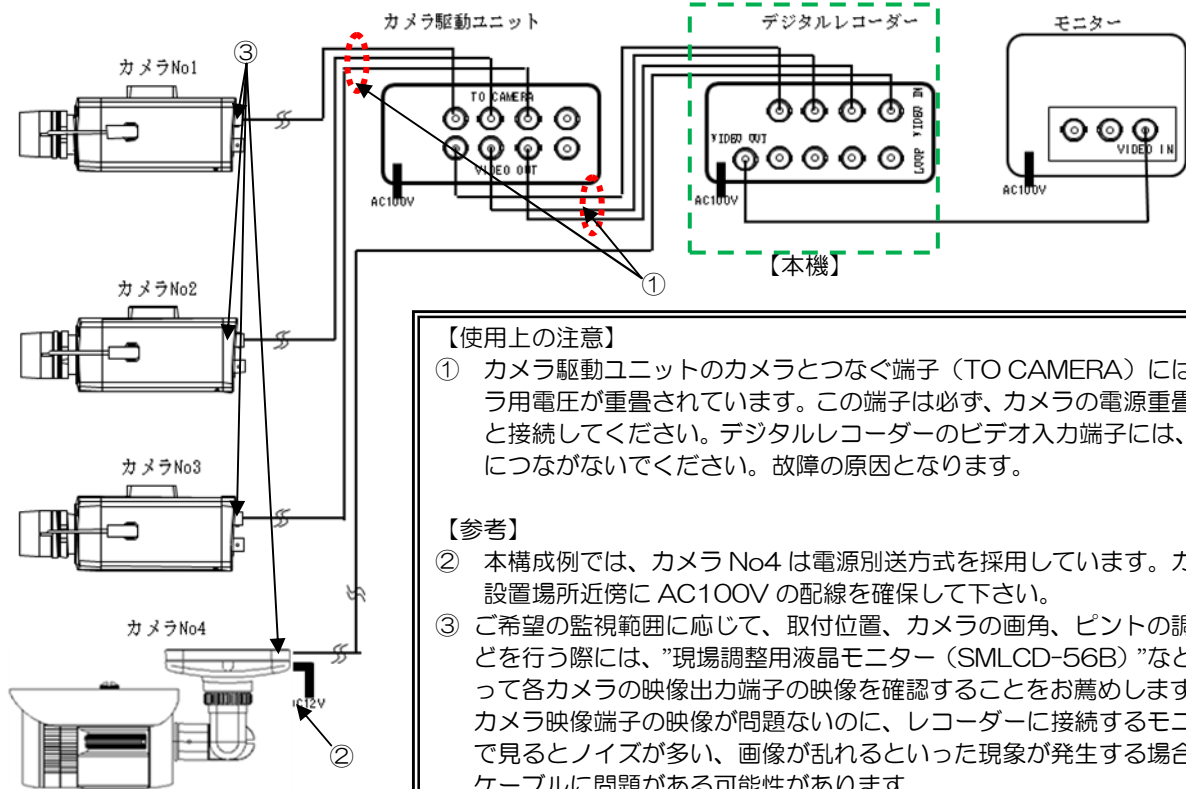
VIDEOなどと表記された[映像出力端子 (BNC)]に同軸ケーブルを接続します。同軸ケーブルからは映像信号が出力されます。

[電源端子]には、各カメラが規定する電源を接続します。(以下の図は、DC12V 時の例)



## 2. システム構成例

3台は電源重畳方式、1台は電源別送方式で、計4台のカメラを設置する場合のシステム構成例を以下に示します。



### 【使用上の注意】

- ① カメラ駆動ユニットのカメラとつなぐ端子（TO CAMERA）にはカメラ用電圧が重畳されています。この端子は必ず、カメラの電源重畳端子と接続してください。デジタルレコーダーのビデオ入力端子には、絶対につながないでください。故障の原因となります。

### 【参考】

- ② 本構成例では、カメラ No4 は電源別送方式を採用しています。カメラ設置場所近傍に AC100V の配線を確保して下さい。
- ③ ご希望の監視範囲に応じて、取付位置、カメラの画角、ピントの調整などを行う際には、”現場調整用液晶モニター（SMLCD-56B）”などを使って各カメラの映像出力端子の映像を確認することをお勧めします。カメラ映像端子の映像が問題ないのに、レコーダーに接続するモニターで見るとノイズが多い、画像が乱れるといった現象が発生する場合は、ケーブルに問題がある可能性があります。

### 【参考】

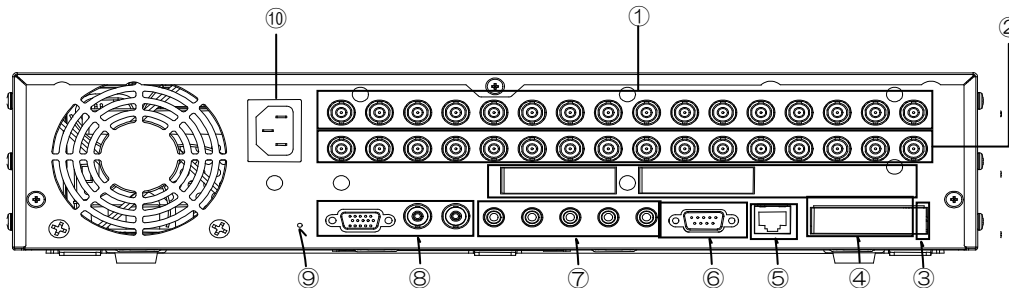
- 設置する環境に応じて、カメラ取付用のブラケットなどが必要になります。詳しくは、弊社カタログ、各製品に添付の取扱説明書をご参照下さい。

# ★設置方法

## 1. 各部の名称と説明

### 1) 背面パネル

背面パネルの端子配置と機能概要を以下に示します。



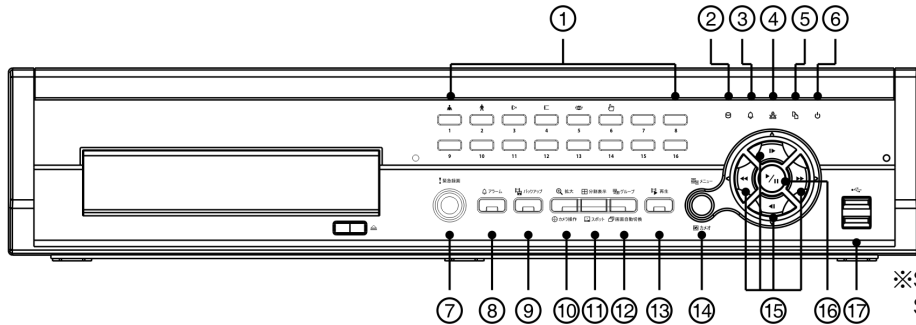
※SDRS-1630 の背面図  
SDRS-831 は、①、②、④の端子数が8個となる

名称	説明						
① ビデオ入力	BNC コネクターのカメラの入力端子です。(向かって左から Ch1~Ch16) <b>【注意】</b> 電源重畳方式のカメラシステムをご使用の場合、誤ってカメラ側へ接続するケーブルを接続しないでください。故障の原因となります。						
② ループスルー出力	ビデオ入力のループスルー出力端子です。(向かって左から Ch1~Ch16) <b>【参考】</b> ループスルーコネクターは自動的に終端します。終端されていないケーブルを接続するとビデオの画質が低下するため、その場合はケーブルをループスルーに接続しないでください。						
③ RS-485	RS-485 ポートは、PTZ (パン、チルト、ズーム) カメラ、外部機器 (電波タイマなど) を接続できます。外部機器の RX+ / TX+ を本機の 485+ に、RX- / TX- を本機の 485- に接続します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>外部機器</th> <th>本機 (デジタルレコーダー)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RX- / TX-</td> <td>→ 485-</td> </tr> <tr> <td>RX+ / TX+</td> <td>→ 485+</td> </tr> </tbody> </table> 合わせて、PTZ カメラの取扱説明書を参照してください。	外部機器	本機 (デジタルレコーダー)	RX- / TX-	→ 485-	RX+ / TX+	→ 485+
外部機器	本機 (デジタルレコーダー)						
RX- / TX-	→ 485-						
RX+ / TX+	→ 485+						
④ アラーム入力 / 出力	外部装置を利用してイベントが発生した場合に、デジタルレコーダーが反応するように信号を送ることができます。 機械的、または電気的スイッチを AI (アラーム入力) と GND (グラウンド) コネクターに接続します。						
⑤ ネットワークポート	LAN、WAN など遠隔監視を行うためのネットワークポートです。 10/100Mbps イーサネットを利用してネットワークに接続できます。デジタルレコーダーのネットワークポートに RJ-45 プラグ付の LAN ケーブルを接続します。デジタルレコーダーはコンピュータとネットワーク上で接続され、遠隔監視や遠隔検索、遠隔制御や遠隔ソフトウェアアップグレードができます。						
⑥ RS-232C	RS-232C ポートは、PTZ (パン、チルト、ズーム) カメラ、外部機器 (電波タイマ、UPS など) を接続できます。						
⑦ オーディオ出力/入力	音声入力 (RCA) の接続端子です。 <b>【参考】</b> 本機にはオーディオ出力アンプがないため、アンプとスピーカーを準備してください。オーディオ入力は複数のソースを接続できますが、内蔵アンプのないマイクの場合、直接接続すると正常に動作しません。その場合は別途プリアンプを経ってから接続してください。						
⑧ ビデオ出力	メイン出力 (BNC コネクター) : メイン映像出力端子です。 VGA 出力 (ミニ D-sub15 ピン) : メイン映像出力端子です。 <b>【参考】</b> メイン出力と VGA 出力は同じ映像が出力されます。 スポットアウト : 設定により、フル画面、シーケンシャル (自動切り替え)、イベント発生時の表示が可能です。						
⑨ ファクトリーリセットスイッチ	装置背面のアラーム出力コネクタの左側にあるファクトリーリセットスイッチは、デジタルレコーダーを工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使用します。						















⑩	電源コネクタ	<p>電源コードをデジタルレコーダーと電源コンセントに接続します。この装置には電源スイッチがないので、接続するとすぐに電源が入ります。</p> <p><b>【安全上の注意】</b>          正しい電源電圧（交流 100V）で使用してください。また配線器具の定格を超えたり、たこ足配線などを行わないでください。          電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。          電源ケーブルが傷んだ場合は、すぐに使用をやめてください。</p>
---	--------	---

## 2) 前面パネルボタン

前面パネルのボタン配置と機能概要を以下に示します。



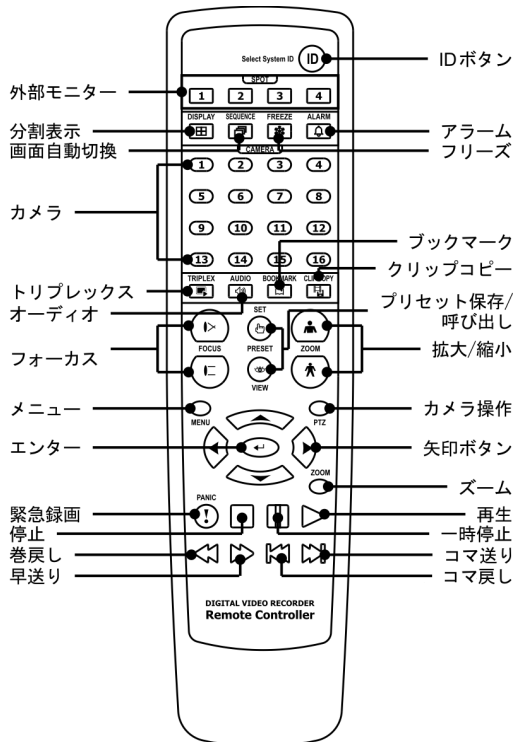
※SDRS-1630の前面図  
SDRS-831は、①のボタン数が8個となる

ボタン名	説明
① カメラ番号ボタン 	<p>ライブ映像モードや検索モードでカメラ番号ボタンを押すと、該当カメラの映像をフル画面で表示します。また、パスワードを入力する場合、1 から 9 のカメラ番号ボタンを利用して入力できます。</p> <p>PTZ モードでカメラ番号 (1) ボタンは画面拡大ボタンとして、カメラ番号 (2) ボタンは画面の縮小ボタンとして、カメラ番号 (3) ボタンは近距離焦点ボタンとして、カメラ番号 (4) ボタンは遠距離焦点ボタンとして、カメラ番号 (5) ボタンは保存されたプリセットに移動するボタンとして、カメラ番号 (6) ボタンはプリセット保存ボタンとして使用されます。</p>
② ハードディスク LED 	ハードディスクに映像を保存するか、保存された映像を検索する場合、ハードディスク LED が点滅します。
③ アラーム出力 LED 	アラーム出力が動作している間、アラーム出力 LED が点灯します。
④ ネットワーク LED 	ネットワークに接続していると、ネットワーク LED が点灯します。
バックアップ LED 	バックアップが行われている、バックアップ LED が点灯します。
電源 LED 	本機が作動している間、電源 LED が点灯します。
緊急録画ボタン 	緊急録画ボタンを押すと  アイコンが表示されて、現在のスケジュールに関係なく映像を録画します。ボタンをもう一度押すと緊急録画モードが解除されます。
アラームボタン 	アラームボタンは、アラームが作動している時に内部ブザーを含むデジタルレコーダーの出力をリセットしたり、アラームが発生していない場合にイベントログを表示します。
⑨ バックアップボタン 	CD-R / RW、DVD-R / RW、USB フラッシュメモリなどに録画映像をコピー（クリップコピー）します。
⑩ 拡大 / カメラ操作ボタン 	<p>拡大 / カメラ操作ボタンは画面で特定の部分を拡大して見たい時に使用します。方向ボタンで拡大画面の画面を移動させることができ、 ボタンを押して拡大倍率を2倍⇄4倍に変更します。</p> <p>拡大/カメラ操作ボタンを長押し（2秒以上）すると、PTZモードがスタートし、設定されたPTZカメラを制御します。方向ボタンメニューボタンを利用し、設定されたPTZカメラを制御します。</p>
⑪ 分割表示 / スポットボタン 	<p>分割表示 / スポットボタンを押すと P I P（ピクチャーインピクチャー）→ 4 → 9 → 16 画面に変わります。</p> <p>分割表示 / スポットボタンを長押し（2秒以上）すると外部モニターに出力されるカメラを選択することが出来ます。</p>
⑫ グループ / 画面自動切換ボタン 	<p>グループ / 画面自動切換ボタンを押すと、現在の画面のグループから次の画面グループに移動し、ページ番号が画面に表示されます。</p> <p>ライブ映像モードでグループ / 画面自動切換ボタンを長押し（2秒以上）すると、別のチャンネルを連続して表示するシーケンスモードに切り替わります。</p>

<p>⑬ 再生モードボタン</p> 	<p>再生モードボタンを押すと、再生モードになり、再びボタンを押すと リアルタイム監視モードになります。再生モードに入ると ビデオは一時停止され、 ボタンを押すと通常スピードで再生します。一時停止モードでは画面に  が、再生中には画面に  が表示されます。分割表示時に再生モードボタンを押すとリアルタイム監視をしながら特定のチャンネルのみ再生するトリプレックスモードに切り替えが可能です。</p>
<p>⑭ メニュー / カメオボタン</p>  	<p>メニュー / カメオボタンを押すと、その時の状態に応じたメニューが表示されます。ログイン画面が表示される場合は、設定権限のあるユーザーを選択してパスワードを入力してください。ボタンをもう一度押すと、現在のメニューや設定画面は閉じます。また再生モードで再生モードメニューを表示するのに使用します。</p> <p>メニュー / カメオボタンを長押し (2 秒以上) すると、画面グループ編集モードになります。画面グループ編集モードになると 選択された カメオに黄色の枠ができ、 ボタンを利用してカメオの選択を変更することが可能です。</p> <p>カメオを選択してから表示したいカメラ番号のボタンを押すと選ばれたカメラの映像を該当カメオに割り当てます。</p> <p> ボタンを押し、画面グループ編集モードから出ます。</p> <p>あるいはメニュー / カメオボタンを押し、カメオメニューが表示されたら「グループ編集終了」を選んでグループ編集モードを終了します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【参考】 カメオとは分割画面での各カメラの映像を表示した各々の画面のことで、カメオモードからカメラ映像を任意の位置に配置し、カメラグループを編集することができます。</p> </div>
<p>⑮ 方向ボタン</p> 	<p>再生モードで、 方向ボタンを押すと早戻し再生します。 ボタンを押すたびに再生→高速再生 (, , ) に切替えます。(画面上に , ,  がそれぞれ表示されます。)</p> <p>再生モードで、 方向ボタンを押すと早送り再生します。 ボタンを押すたびに再生→高速再生 (, , ) に切替えます。(画面上に , ,  がそれぞれ表示されます。)</p> <p>一時停止状態から  方向ボタンを押すと現在の映像の次の映像を、 方向ボタンを押すと現在の映像の前の映像を表示します。</p>
<p>⑯ 再生/一時停止/エンター*ボタン </p> <p>(*メニュー時エンターボタン)</p>	<p>ライブ映像モードで  ボタンを押すとライブ映像が一時停止します。画面上には  アイコンが表示されます。再生モードではこのボタンを押すたびに、再生と一時停止を切替えます。メニューの設定時、項目を選択するか入力事項を決定する場合に使用します。</p>
<p>⑰ USB コネクタ</p>	<p>USB マウスの接続が可能です。USB フラッシュメモリなどへ録画データをバックアップ (クリッププレーヤー) することができます。</p>

### 3) リモコンボタン

リモコンのボタン配置と機能概要を以下に示します。





ボタン名	説明
ID ボタン	<b>ID</b> ボタンを押してリモコンの ID 値を設定できます。 システム ID が 0 の場合は、リモコン ID 値を設定しなくても操作できます。 システム ID が 1~16 の場合には、 <b>ID</b> ボタンを押して、 <b>カメラ</b> ボタンの 1~16 の該当するボタンを押すとデジタルレコーダーの操作が可能になります。複数のシステム ID が 0 の場合には、リモコン操作すると同時に複数のデジタルレコーダーが操作されます。
SPOT (外部モニター)	スポットモニターに表示されるカメラチャンネルを、リストから選択できます。(本機のスポット出力は 1ch のみなので、2~4 のボタンは使用しません。)
DISPLAY (分割表示)	画面分割のスタイルを切替えます。 ボタンを押すたびに切替ります。
SEQUENCE (画像自動切替)	選択されたモニターの画面自動切替 (シーケンシャル表示) をオン/オフします。
FREEZE (フリーズ)	モニター選択時に、ライブ映像を一時停止表示します。
ALARM (アラーム)	<b>アラーム</b> ボタンは、アラームが動作している時に内部ブザーを含むデジタルレコーダーの出力をリセットします。プライマリモニター選択時に、ライブ映像モードでアラームが発生していない場合にイベントログを表示します。
CAMERA (カメラ)	ライブ映像モードや検索モードで <b>カメラ番号</b> ボタンを押すと、当該カメラの映像を選択しているモニターにフル画面で表示します。また、パスワードを入力する場合、1~9 の <b>カメラ番号</b> ボタンを使用して入力します。
TRIPLEX (トリプレックス)	モニター選択時に、トリプレックス再生モードに切り替えます。
AUDIO (オーディオ)	モニター選択時に、オーディオ出力のオン/オフを切り替えます。
BOOKMARK (ブックマーク)	再生モードで <b>ブックマーク</b> ボタンを押すと、ブックマークウィンドウが表示されます。 現再生時点をブックマークに追加します。またはブックマークに登録された箇所に移動します。 なお、登録されたブックマークでも録画データが上書きされると再生できません。
CLIP COPY (クリップコピー)	<b>CLIP COPY</b> ボタンを押すと、クリップコピー動作を行います。
FOCUS (フォーカス)	PTZ モードで <b>近/遠距離焦点</b> ボタンとして使用します。
PRESET (プリセット保存)	PTZ モードでプリセット保存に使用します。
VIEW (プリセット呼び出し)	PTZ モードでプリセットを呼び出すのに使用します。
ZOOM (拡大/縮小)	PTZ モードで拡大 (ズームイン) / 縮小 (ズームアウト) に使用します。
MENU (メニュー)	<b>メニュー</b> ボタンを押すと、ライブ映像モードではライブ映像メニューが表示されます。検索モードでは、検索メニューが表示されます。 ログイン画面が表示されている場合は、設定権限のあるユーザーを選択してパスワードを入力してください。メニューなど表示中に、もう一度 <b>メニュー</b> ボタンを押すとその画面が消えます。
PTZ (カメラ操作)	<b>カメラ操作</b> ボタンを押すと、PTZ モードになり、設定された PTZ カメラを制御します。
<b>↵</b> (エンター)	<b>エンター</b> ボタンは項目を選択したり、入力事項を決定します。
方向ボタン	<b>方向</b> ボタンは、各メニュー設定と画面上で移動するために使用します。設定メニューでは、上/下 <b>方向</b> ボタンで設定数値の増減を行います。また、PTZ モードでは上下左右の移動ができます。
ZOOM (ズーム)	<b>拡大</b> ボタンは画面の特定部分を拡大して表示します。 <b>方向</b> ボタンで拡大画面の画面を移動させることができます。
緊急録画	<b>緊急録画</b> ボタンを押すと、 <b>!</b> アイコンが表示されて、設定されたスケジュールに関係なく映像を録画します。ボタンをもう一度押すと緊急録画モードが解除されます。
停止	検索モードで映像を再生中の場合、 <b>停止</b> ボタンを押すとライブ映像に戻ります。
一時停止	検索モードで映像を再生中の場合、 <b>一時停止</b> ボタンを押すと再生映像が一時停止します。
再生	ライブ映像モードで <b>再生</b> ボタンを押すと、検索モードに切替ります。 検索モードで <b>再生</b> ボタンを押すと、映像が再生されます。
巻戻し	再生モードで、 <b>◀</b> ボタンを押すと早戻し再生されます。 <b>◀</b> ボタンを押すたびに再生→早戻し再生 (◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀) に切替ります。
早送り	再生モードで、 <b>▶</b> ボタンを押すと早送り再生します。 <b>▶</b> ボタンを押すたびに再生→早送り再生 (▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶) に切替ります。
コマ送り	再生モードで <b>コマ送り</b> ボタンを押すと、正方向に 1 コマずつ再生されます。
コマ戻し	再生モードで <b>コマ戻し</b> ボタンを押すと、1 コマずつ逆再生されます。

※本機は、前面パネル、リモコンに加えて、USB ポートに接続する USB マウスを使って操作することもできます。

## 2. 配線接続と映像出力確認

「2. システム構成例」(3 ページ) の 4 台のカメラ構成の場合の手順を以下に示します。

- ① 必要に応じて、アラーム入力/出力やオーディオ入力/出力などの接続をします。
- ② カメラ No1～No3 はカメラ駆動ユニットの VIDEO OUT 端子と本機の VIDEO IN1～3 を BNC ケーブルで接続します。
- ③ カメラ No4 は、カメラ設置箇所付近で AC アダプタを使って電源を供給し、カメラからの映像出力を直接、本機の VIDEO IN4 に接続します。
- ④ 本機のビデオ出力 (VIDEO OUT 端子もしくは VGA 端子) を対応するケーブルを使ってモニターのビデオ入力端子に接続します。
- ⑤ デジタルレコーダーの電源コードを接続します。(電源スイッチはありません。自動的に起動し、録画を開始します)
- ⑥ 接続していないカメラ入力端子がある為、アラーム音が鳴るので、**アラーム** ボタンを押して、ログインし、止めてください。  
(デフォルト状態は、ユーザー名”admin”、パスワード”なし”となっております)
- ⑦ 前面パネルの 1, 2, 3, 4 の**カメラ番号** ボタンを押して、各カメラの映像 (設定した場合、音声も) が正常に表示されることを確認します。

### 【参考】

- 映像入力のないチャンネルはカメラ使用設定を Off することをお薦めします。再起動時などに映像信号なしと判断され、アラーム音が鳴ります。(参照：クイックオペレーションガイド：3 ページ「カメラ設定」)
- 本機は、電源コードを挿すと自動的に起動し、録画を開始します。録画中に電源コードを抜かないでください。
- 本機を終了するには、**メニュー** ボタンを押して、「システム」→「システム終了」を選択します。  
(参照：クイックオペレーションガイド：2 ページ「起動/終了」)

## ★クイックオペレーションガイド、取扱説明書

本機の基本的な操作方法は付属のクイックオペレーションガイドをご参照ください。また、本機でサポートする各種機能、メニュー構成などは、取扱説明書に記載されております。

取扱説明書は、表紙に記載の Web からダウンロードして、お使いください。